

手をあらおう





★二ページ目★

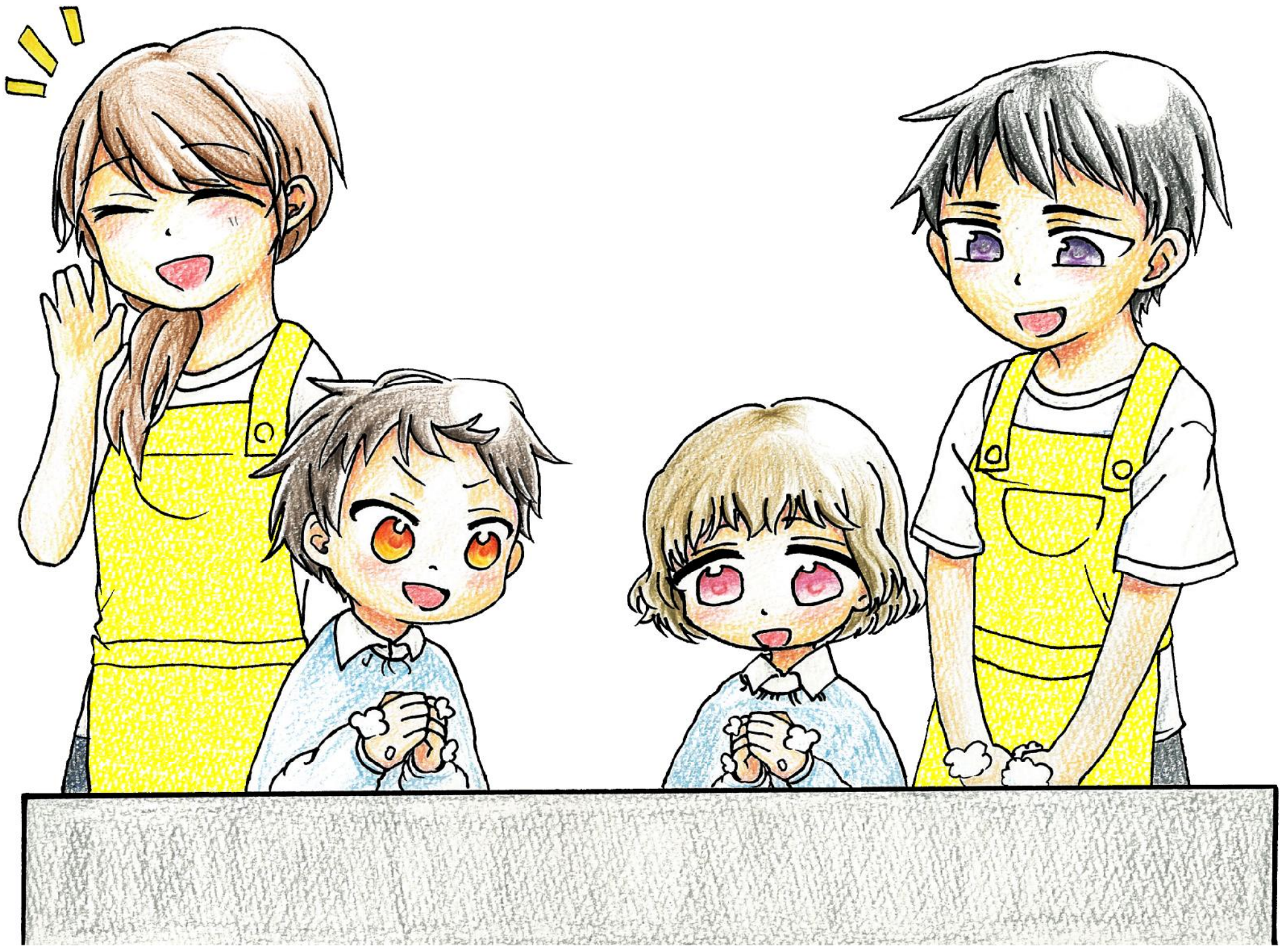
みうら先生「さあ、みんな。おやつ時間よ。手を洗いましょうね。」

(みうら先生が子ども達に言いました。)

子ども達「はい。」

(子ども達は元気よくお返事して手を洗っています。)

(ところが・・・)





★三ページ目★

(一人だけ手を洗わおうとしない女の子がいます。)

みうら先生「なおちゃん、どうして手を洗わないの?」

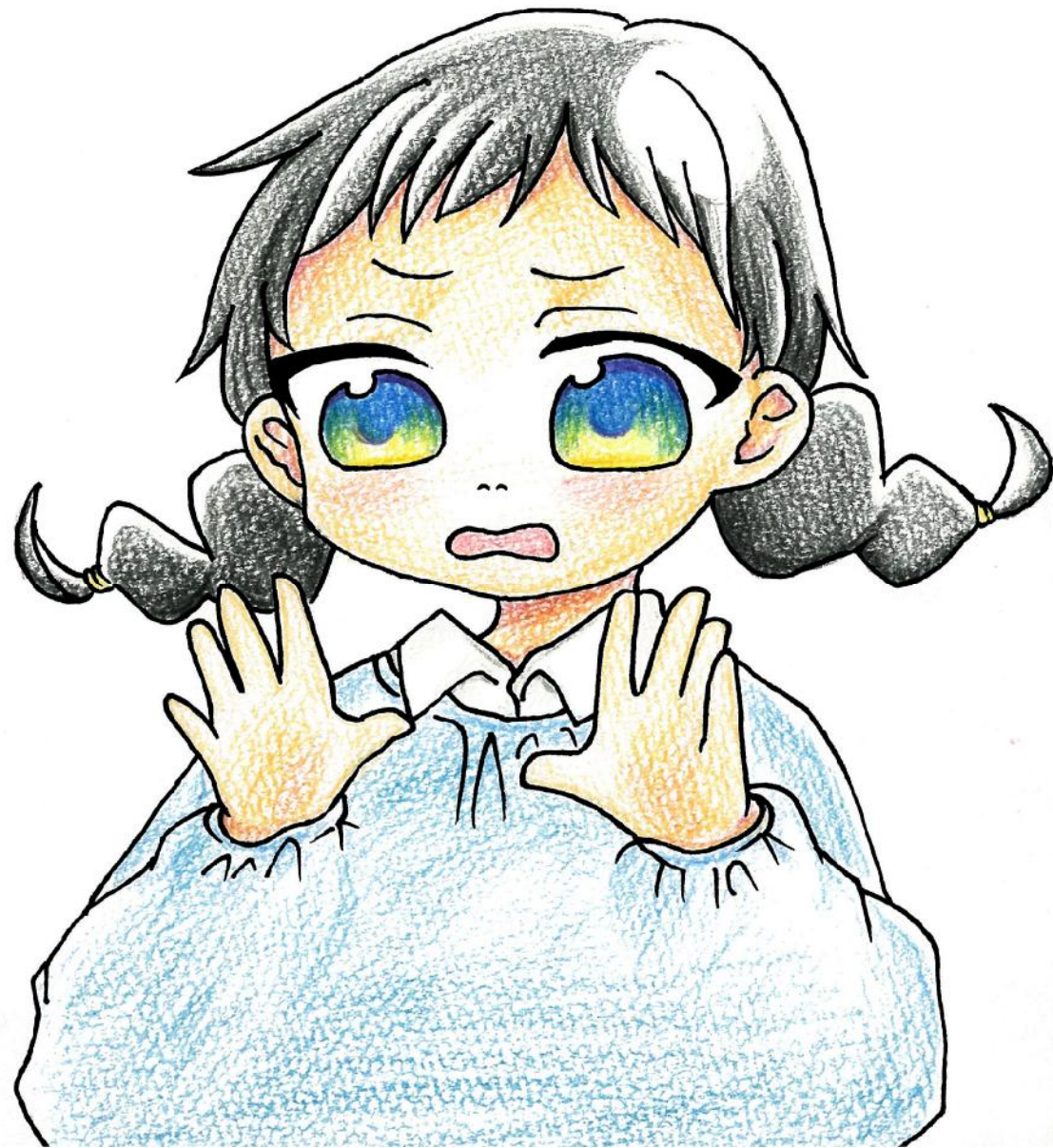
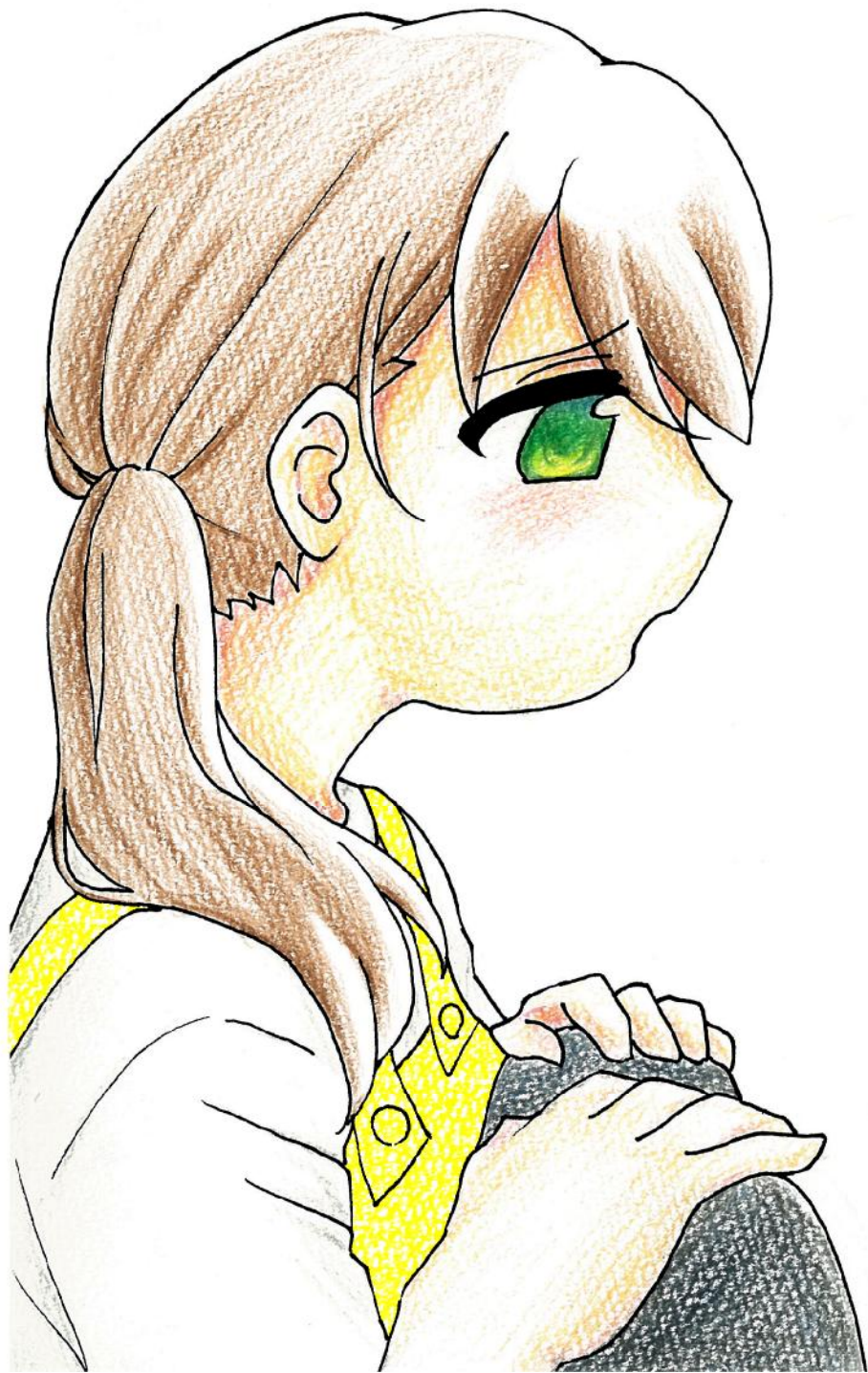
(みうら先生が女の子のなおちゃんに聞きました。)

なおちゃん「だって汚れてないんだもん。」

(なおちゃんは、みうら先生に手を見せます。)

(なおちゃんは、汚れていないように見える手を見せながら、なぜ

手を洗わないといけないのか不思議そうです。)

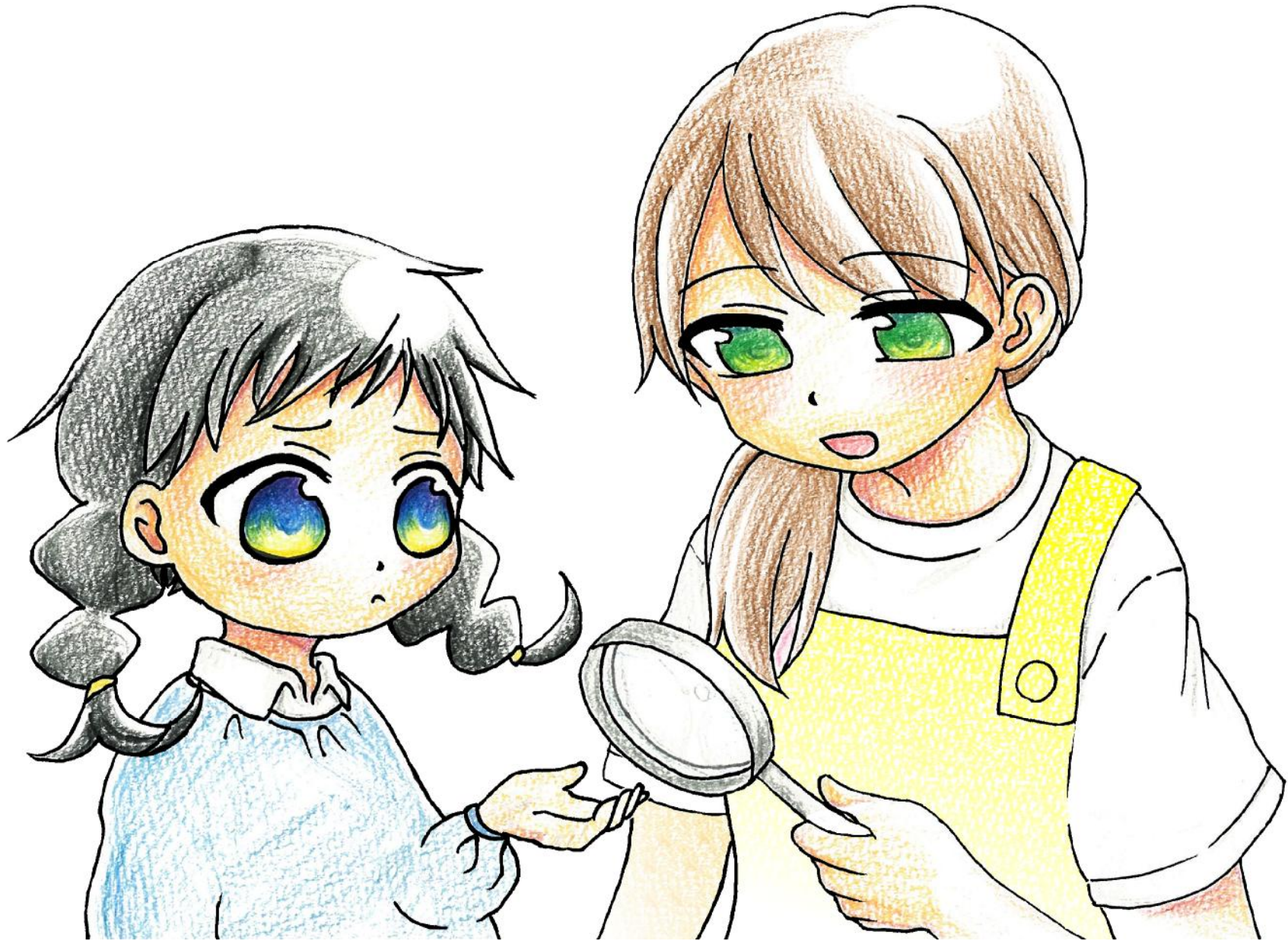




★四ページ目★

みうら先生「それじゃあ、バイ菌が見える魔法の虫メガネで見てみましょうか。」

(みうら先生が、魔法の虫メガネをなおちゃんの手にかざしてみました。すると・・・)





★五ページ目★

(きれいに見えたなおちゃんの手には、色々なバイ菌がうじょうじよ付いています。)

(なおちゃんは、手についたバイ菌を見てビックリ!)

みうら先生「手には、目には見えないくらい小さなバイ菌が、

たくさんついているのよ。」

みうら先生「バイ菌が口に入るとどうなるかな？」

(みうら先生は、なおちゃんに聞きます。)





★六ページ目★

なおちゃん「お腹が痛くなる。」

なおちゃん「カゼをひいちゃう。」

みうら先生「そうだね。お腹が痛くなったり、カゼをひいちゃうのは嫌だよね。」





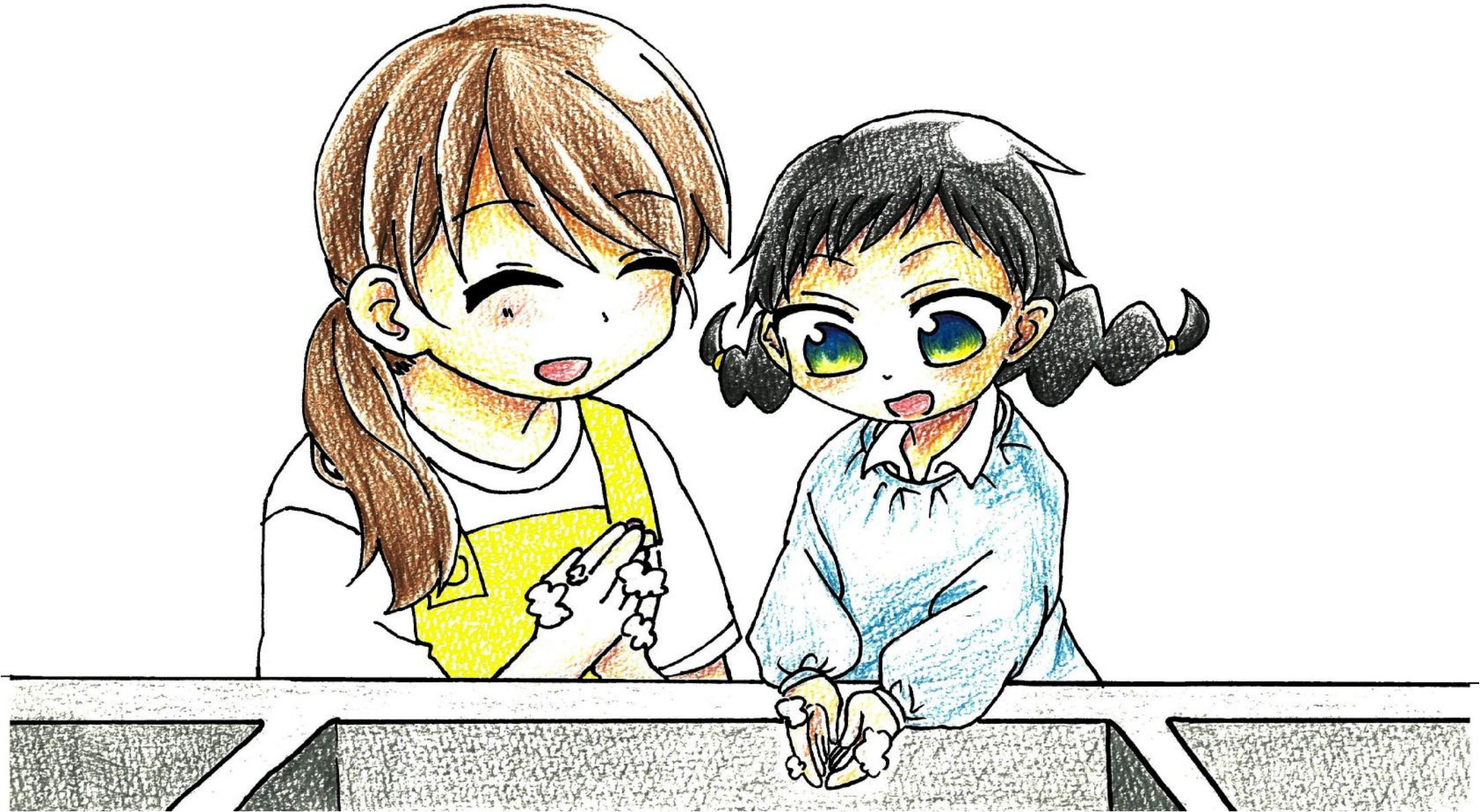
★七ページ目★

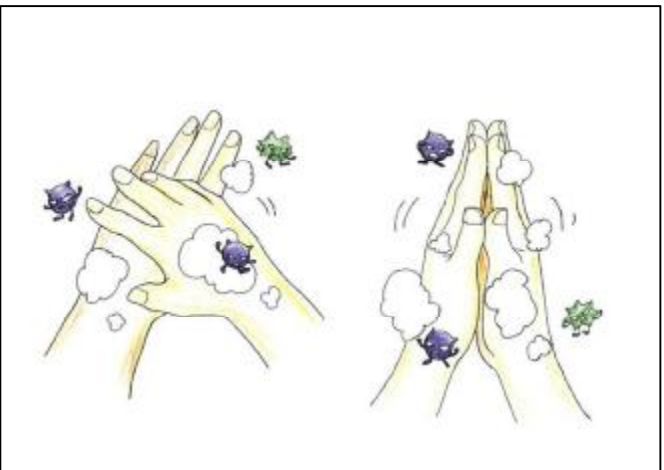
なおちゃん「だから、手を洗うんだね。」

みうら先生「そうだね。汚れていないように見えても、しっかり手を

洗おうね。」

なおちゃん「うん。手を洗う。」





★八ページ目★

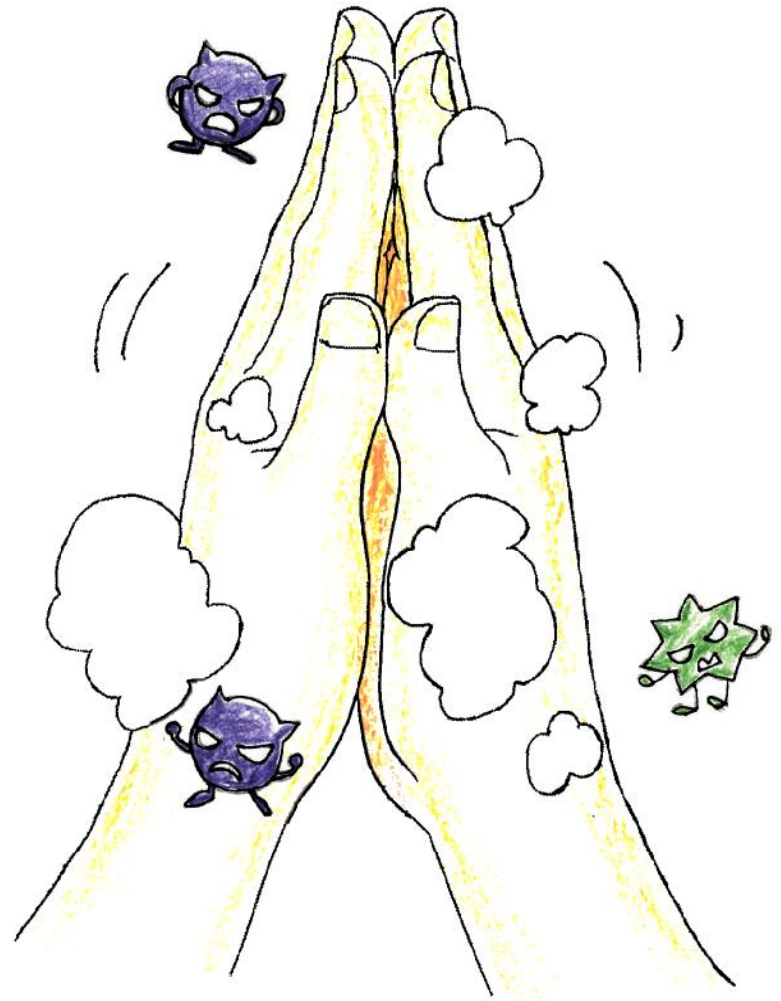
みうら先生「手を洗うときは、・・・」

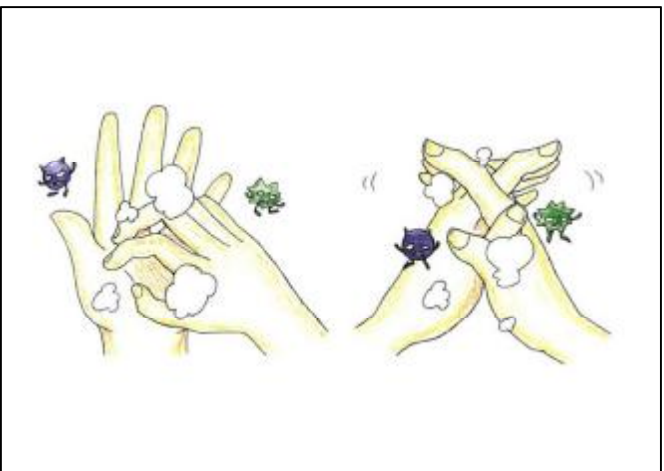
①手を水で濡らして、石けんをよく泡立てる。

バイ菌「石けんは苦手なんだ」

②手の甲もよく洗う。

バイ菌「やられる。にげろ」



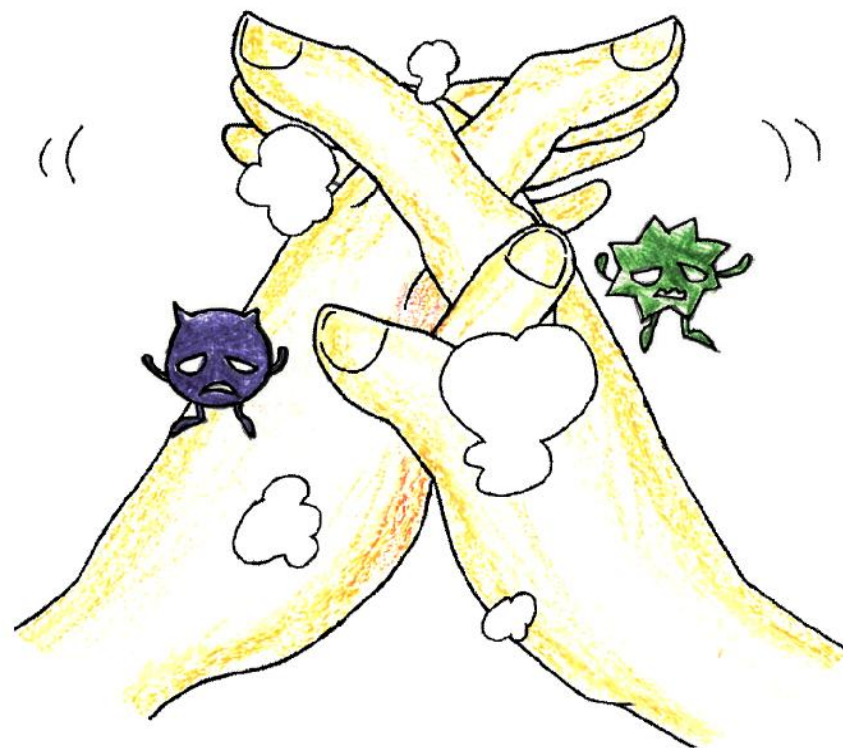


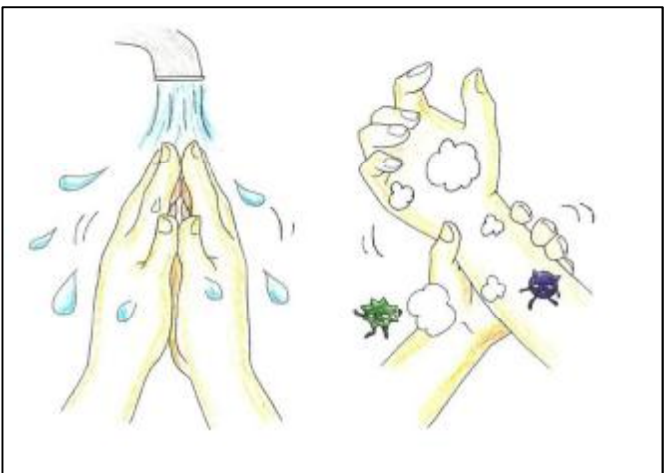
★九ページ目★

③指の間もよく洗う。

④指先を手の平に当ててしっかり洗う。

バイ菌「うゝ。逃げ場がないよゝ」



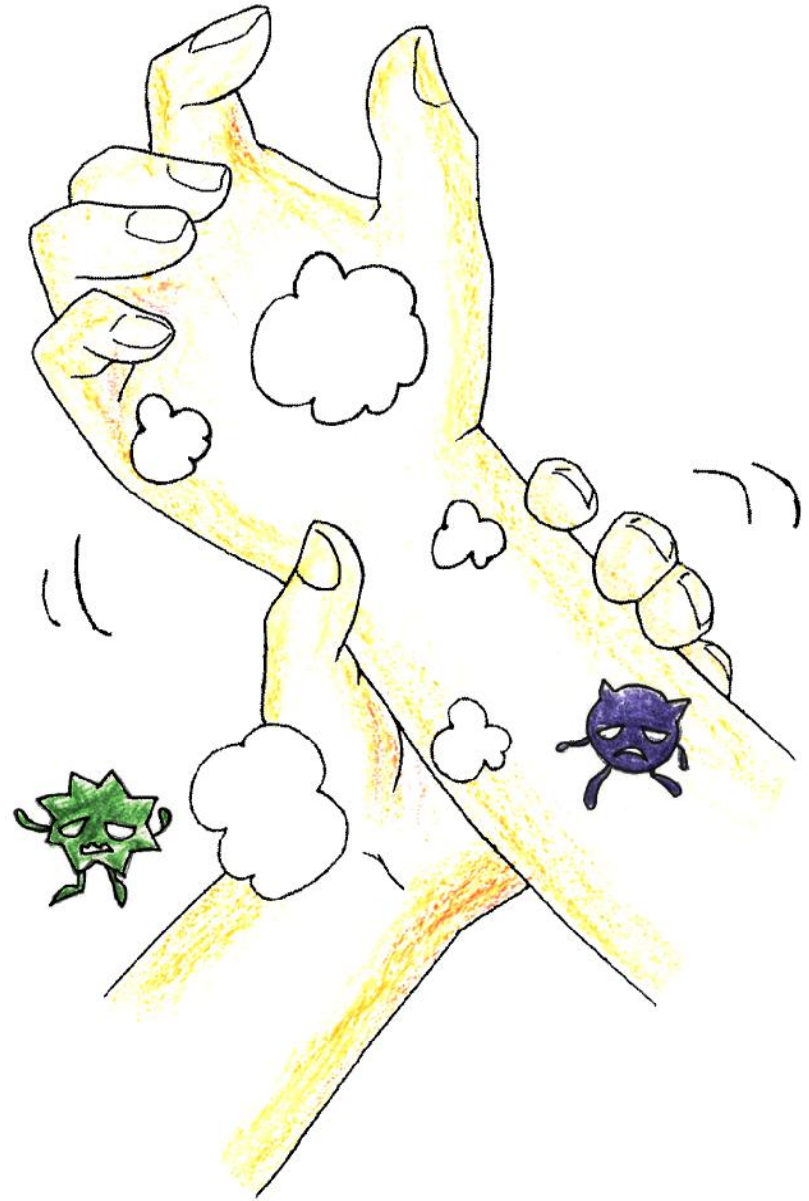
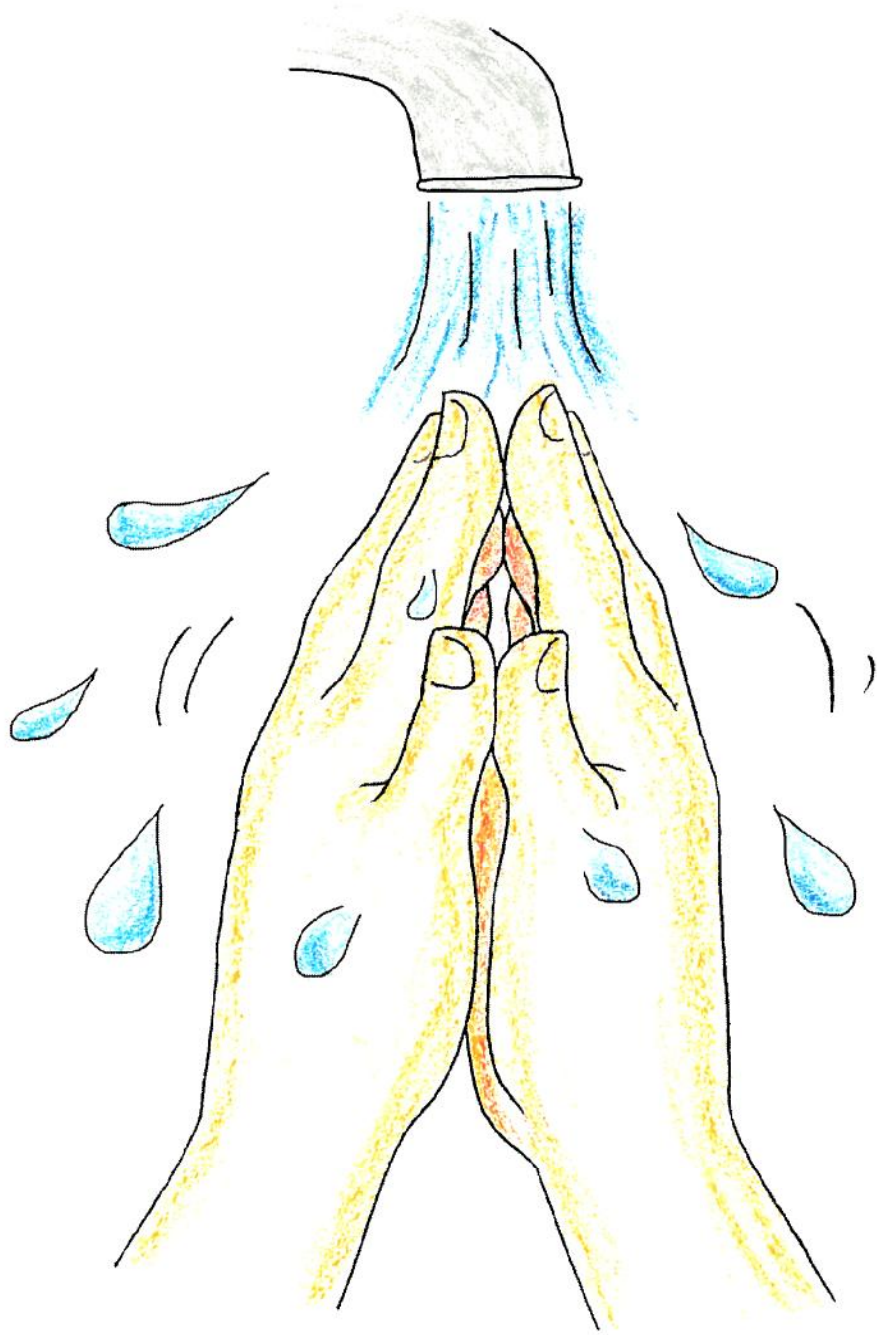


★十ページ目★

⑤手首まできれいに洗おう。

バイ菌「もうダメ〜。」

⑥しっかり洗えたら水できれいに流そう。





★十一ページ目★

⑦最後にきれいなタオルで拭いて・・・

⑧ピカピカのきれいな手

洗いは覚えたかな？

さいごに、どんな時に手を洗ったらいいか考えてみよう。



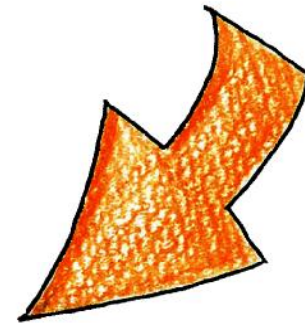
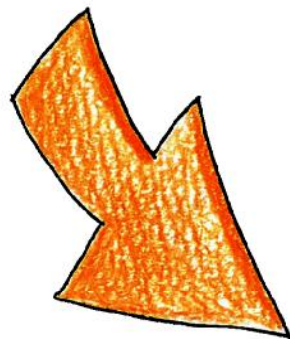


★十二ページ目★

① 「ただいま」 おうちに帰ったら ← 「手を洗おう。」

② 「ジャー」 トイレのあとは ← 「手を洗おう。」

それから・・・





★十三ページ目★

③手を洗ってから ← 「いただきます」「ご飯やおやつを食べようね

子ども達「おやつ、おいしい。」

(なおちゃんもニッコリ。)

おしまい





★一ページ目★

タイトル「手をあらおう」

今日は、皆さんに、「手をあらおう。」というお話をします。

啓発のポイント

- ①なぜ手洗いが必要かを知る。
- ②正しい手の洗い方を知る。
- ③手を洗うタイミングを知る。

紙芝居「手をあらおう」(13 ページ)

発行：平成 29 年 3 月

制作・編集：大阪府泉佐野保健所

原画：大阪府立日根野高等学校美術部

1 年生 森下 日菜、出口 舞桜